

公益社団法人 日本青年会議所 2021年度 東海地区静岡ブロック協議会

会長 櫻井 亮

現 状 分 析

静岡県の総人口は2005年をピークに減少が続いており、生産年齢人口も年々減少しているが、総人口比率で考えるとあまり変動がない。しかし、静岡ブロック協議会では直近10年間の会員数は静岡県総人口比率以上の数で純減し、地域で輝く人財の絶対数が下降状態である。自らまちの目指すべき姿に向かい、問題の炙り出しと解決へと導く行動を起こすActive Citizenの数の力は必要不可欠なものである。それ故、静岡ブロック協議会を圧倒的な最高のリカレント教育の場として価値の訴求を行い、地域で輝く人財を増やすことが急務である。

連携概要

- LOMへの拡大支援
10年連続メンバー数純減を打破するために、静岡ブロック協議会をサブスク化（フロントエンド）し、近隣エリアでのWebリアルタイム配信の受講を可能にすることで、会員拡大純増の自動化を図ります。
KPI：静岡ブロック協議会の会員数純増
- 日本の地域に即した権限移譲モデルの策定に関する調査・研究
今後のスマートシティ展開の代表となるであろう「Woven City（スソノ・デジタル・クリエイティブ・シティ構想）」がトヨタ自動車株式会社により発表されたため、両者より新しいまち構想の合意に至った背景や生の声を共有・発信することで、内閣府が提唱するスーパーシティ構想を全国規模で推し進める。
KPI：Woven City関係事業のWeb配信を3回以上
- 地域の質的価値を創造する推進事業の企画・運営・実施
新型コロナウイルス感染症により静岡県内のインバウンド並びに生産年齢人口の流出が懸念されているため、人の心を動かす価値やストーリーを見つめ直し、発信することで、新たな価値訴求による循環型観光ビジネスと生産年齢人口の流出を防ぐ。
KPI：パートナー企業との質的価値を創造する冊子等のアウトプットを1点以上作成

独自の事業概要

- ESG投資を推進する事業の実施
SDGsを実利の観点から展開する企業・まちを増やすため、ESG投資を推進し、環境と実利を両立した企業モデルを構築するとともに、自立した地域社会の持続可能性を追求する。
KPI：ESG投資関係事業のWeb配信を2回以上
- ファイナンシャルリテラシー啓蒙事業の実施
他者を想い行動する素地を構築するため、日本に根強く定着している貯蓄第一主義を見つめ直すことで、個人の資産形成に対する視野を広げ、個の金融不安を取り除きます。
KPI：ファイナンシャルリテラシー関係事業のWeb配信を3回以上
- LOM理事発信事業の実施
拡大候補者の入会動機を増しつつ、アカデミー生の退会者減を行うため、アカデミー生によるLOM理事メンバーへのJCに入会した理由のインタビューを行い、SNS配信をすることで入会数増並びに退会者減を後押しします。
KPI：全LOM理事メンバーのインタビュー並びにSNS配信
- 最高のリカレント教育の場を形成するプラットフォームを確立する事業の実施
永続的に地域を輝かせる人財を輩出し続けるため、20LOMの研修事業をすべてオブザープできる環境を整備し、圧倒的な学びの機会の場を形成することで、最高のリカレント教育の場としての価値を確立します。
KPI：各LOM2事業以上の研修事業の発信

パ ー ト ナ ー

- 静岡ブロック協議会内20LOM（サブスク化による研修事業の共有）
- 豊田章男（トヨタ自動車株式会社・Woven City構想によるトヨタの構想展開を共
- 川勝平太（静岡県知事・地域の多様性を生かした一極集中是正についての考えを共有）
- 高村謙二（裾野市市長・裾野市まちづくりの考え方の変化を共有）